

平成27年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

（ 推 薦 入 試 ）

（ 外 国 語 試 験 ）

試 験 日 : 平成 26年 8月 21日(木)

試 験 時 間 : 9時 30分 ~ 11時 30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を裏返しにしたままにしておくこと。
2. 辞書の持込みは不可。
3. 問題1と問題2は、それぞれ別の答案用紙に解答すること。
4. 解答にあたっては、問題番号を答案用紙に明記すること。  
(例:問題2-問2)
5. 答案用紙がさらに必要な場合は申し出ること。

問題1 次の英文は、人間とロボットのかかわりに関する研究論文の一部である。英文を読み、下線部(1)～(3)に関連する問1～3に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(出典： Kahn, P. H. et al. (2012). “Robovie, you’ll have to go into the closet now”:  
Children’s social and moral relationships with a humanoid robot. *Developmental  
Psychology*, 48, 303–314. DOI: 10.1037/a0027033 より一部改変)

問1 下線部(1)の、子どもにおける AIBO との社会的・道徳的関係に関する 4  
つの研究とは、具体的にどのようなものか。4つそれぞれについて、簡潔に  
述べなさい。

問2 下線部(2)についての具体的な例示の内容は、AIBO に関するインターネ  
ットの書き込みである。これを引用している意味を説明しなさい。

問3 下線部(3)の示す内容を要約しなさい。

問題2 以下の英文を読み、問1～4に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(出典 : Coolican, H. (2013). *Research Methods and Statistics in Psychology, Fifth Edition*, London and New York: Routledge. より一部改変)

問1 (a)下線部(1)を和訳しなさい。(b)下線部(1)のような実験で得たデータ (Table 1のデータ) に対して行う、最も適切な検定手法について簡潔に述べなさい。

問2 (a)下線部(2)をわかりやすく和訳しなさい。(b)下線部(2)のようなことをなぜ行う必要があるのかを述べなさい。

問3 下線部(3)を、それまでに書かれている内容を踏まえて、多少言葉を補い、わかりやすく和訳しなさい。

問4 下線部(4)をわかりやすく和訳しなさい。

平成27年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（社会人特別入試・推薦入試）

（ 外 国 語 試 験 ）

試 験 日 : 平成 26年 8月21日(木)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと
3. 問題毎に答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること

問題1 次の英文を和訳しなさい。( )内引用文献は省略してよい。なお人名は英語表記のままでよいこととします。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

出典: Ewaldsson, A. (2009). Play and games. In J. Qvortrup, W. Corsaro, & M. Honig (Eds.), *The Palgrave handbook of childhood studies* (pp. 316-331). Basingstoke, UK: Palgrave.

問題2 次の英文を和訳しなさい。( )内引用文献は省略してよい。  
なお、人名は英語表記のままでもよいこととします。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

出典: Powell, S., & Gouch, K. (2014). Whose hand rocks the cradle? Parallel discourses in the baby room.  
In P. Oberhuemer, L. Brooker, & R. Parker-Rees (Eds.), *Professional Issues in Work with Babies  
and Toddlers* (pp. 5-19). New York: Routledge.



平成27年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

(社会人特別入試・推薦入試)

( 専 門 試 験 )

試 験 日 : 平成 26年 8月21日(木)

試 験 時 間 : 13時00分 ~ 15時00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと
3. 問題毎に答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること

問題1 下記の文を読み、また図を参考にして問いに答えなさい。

食を通じたコミュニケーションは、食の楽しさを実感させ、人々に精神的な豊かさをもたらすと考えられることから、楽しく食卓の機会をもつように心がけることは重要である。また、食卓は、家族のきずなを深める団欒の場であると同時に、子どもが規則的でバランスの良い食事をとる習慣や、食べる姿勢、食事のマナーなど、基礎的な食習慣を身につけたり、社会性などを学習する重要な場である。しかし、昨今、生活時間の多様化、単独世帯の増加等とも相まって、家族等と楽しく食卓を囲む機会が少なくなりつつある。家族が暮らしている環境下においても、子ども1人あるいは子ども達だけで食事をとるいわゆる「子食」「孤食」や、家族一緒の食卓で特段の事情もなく別々の料理を食べるいわゆる「個食」が見受けられる。朝食の孤食頻度は小学生では10人に1人、中学生で3人に1人、高校生では、ほぼ2人に1人が「よくある」と答えている(学校保健会報告, 2010)。

また、朝食を「子どもだけで食べる」比率は小中学生ともに増加傾向を示し、2005(平成17)年度の小学生では「子どもだけ」と「1人で」をあわせると30.1%であったのが、2007年度には33%に、中学生でも、36%から49.4%に増えている。なかでも、「子ども1人で食べる」者の比率は、小学生5.6%から11.4%に、中学生では12.7%から30.4%と、2倍以上に増加している(日本スポーツ振興センター, 2007; 2009)。食事を子ども達だけ(子食)で、また1人(孤食)で食べることの問題点は (後略)

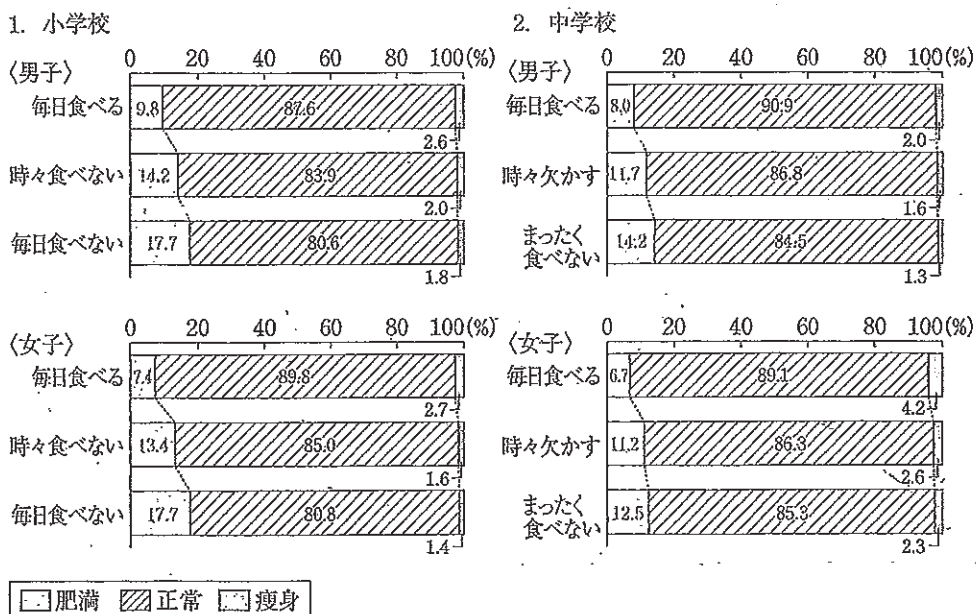


図 朝食の摂取と肥満・痩身傾向児の出現率との関連(2009年)

資料: 文部科学省スポーツ・青少年局「平成21年度全国体力、運動習慣等調査」2010

(1) 文末「問題点は」に続けて筆者（田中敬子）は孤食の問題点を6つあげている。  
あなたが考える孤食の問題点を3つ挙げ、問題である理由をそれぞれ述べなさい。  
(400字程度)

(2) 朝食摂取が肥満・痩身傾向と関連する理由を推論しなさい。(400字程度)

出典：田中敬子（2013）『子どもと食』東京大学出版会 pp.217-219

## 問題2

国の施策として、5歳児が幼稚園や保育所に通う際の保育料を無償化する動きが出ています。保育料の無償化について、3つのキーワード（少子化、学力、貧困）を全て使って、あなたの考えを述べなさい。（500字程度）

## 問題3

次の用語あるいは人名のうち2語を選び、それぞれ200字程度で説明しなさい。選択した語の番号を記入して答えること。

- (1) 乳幼児突然死症候群
- (2) リサーチ・クエスチョン
- (3) 園内研修
- (4) パターナル・アタッチメント
- (5) ロバート・オーエン (Robert Owen)